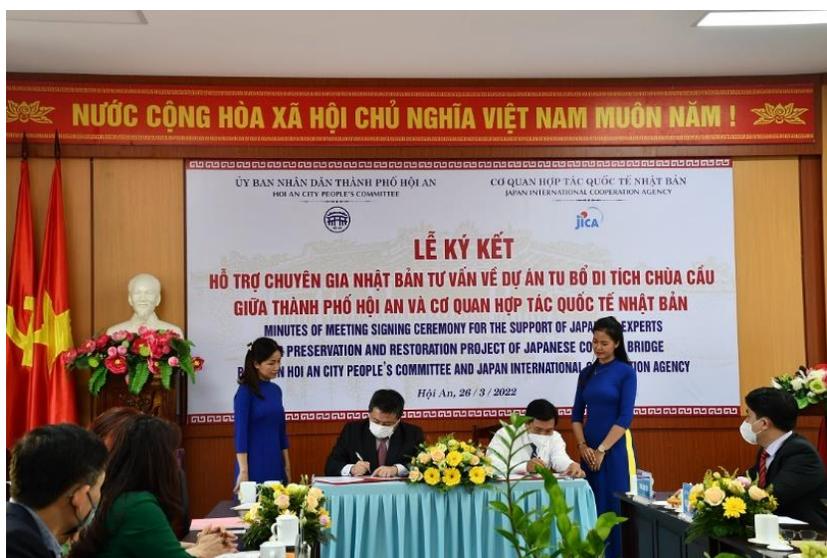


日本人専門家や JICA 海外協力隊の派遣を通じ、 ホイアンの「日本橋」修復を技術支援



「ホイアン旧市街町並み保存に係る青年海外協力隊フォローアップ協力」に係る協議議事録署名式

3月26日、JICAベトナム事務所及びホイアン市人民委員会の間で、「ホイアン旧市街町並み保存に係る青年海外協力隊フォローアップ協力」に係る協議議事録 (Minutes of Meeting、日越における協働内容や役割分担を確認したもの) の署名式を実施しました。日本側からは在ベトナム日本国大使館、文化庁、昭和女子大、山梨県立大、東洋大 (何れもオンライン参加)、

ベトナム側からは文化・スポーツ・観光省 Cuong 副大臣、クアンナム省人民委員会 Tan 副委員長、ホイアン市人民委員会の Son 委員長をはじめとする多くの関係機関の方々が参加しました。

約 400 年前に架けられた、日越交流の歴史の象徴とされる日本橋は、老朽化が著しく進行しています。本事業は、クアンナム省及びホイアン市側により主導的

【巻頭】

- ・日本人専門家や JICA 海外協力隊の派遣を通じ、ホイアンの「日本橋」修復を技術支援

【成長と競争力強化】

- ・技術協力「中小企業振興・産業基盤強化プロジェクト」
 - 創業・新事業アドバイザー養成研修 (基礎コース) を実施 2
 - 中小企業経営者とコンサルタント向け経営管理セミナーを実施 3

目次

- 1 ・「ホーチミン市都市鉄道 1 号線 (ベンタイン-スオイティエン間)」の全車両が到着 3

【ガバナンス強化】

- ・ホーチミン国家政治学院で課長級幹部候補生に環境政策を講義 4

に行われる日本橋修復事業に対して技術的助言を行うものであり、今後、日越外交関係樹立 50 周年である 2023 年まで日本側有識者をホイアン市に派遣する予定です。今般のホイアン市からの協力依頼に基づき、20 年以上にわたって多面的かつ継続的にホイアン市を支援している JICA は、日本側有識者や海外協力隊の派遣を通じてクアンナム省及びホイアン市が担う日本橋修復事業を支援していく予定です。

JICA ベトナム事務所清水所長は、署名式において「日本橋が成功に修復され、より多くの観光客を魅了し、日本とホイアン、そして日本とベトナムとの交流が一層促進される架け橋となることを願って止みません」と述べました。

日本橋修復への支援は、現地の人々の関心も高く、今回の協議議事録署名は多くの現地メディアでも報道されました。JICA はホイアン市をはじめとするベ

トナム側関係者、及び有識者や在越日本国大使館をはじめとする日本側関係者と連携しながら、日本橋の修復事業をサポートし、ホイアン旧市街の町並み保存の支援に取り組んでまいります。



ホイアン日本橋

成長と競争力強化

技術協力「中小企業振興・産業基盤強化プロジェクト」



創業・新事業アドバイザー養成研修（基礎コース）を実施



株式会社ハーモニーリンク馬込正氏（中小企業診断士）

3月4日、11日、17日、技術協力「中小企業振興・産業基盤強化プロジェクト」の一環として、JICA は計画投資省中小企業庁および南部中小企業支援センターと協力し、創業・新事業者にアドバイスを行うコンサルタント向け研修「効果的なビジネスモデル策定手法（基礎コース）」を開催しました。

本研修は、対面とオンラインのハイブリッドで実施し、ベトナム南部地域の中小企業支援従事者および教員・コンサルタント、計 92 名が参加しました。研修では、株式会社ハーモニーリンク馬込正氏（中小企業診断士）を講師として、創業や新事業の成功

に必要な、しっかりとしたビジネスモデル策定のための知識・ノウハウの習得、ビジネスモデル策定演習の機会を提供しました。終了後のアンケートでは、テーマおよび創業・新事業支援に魅力を感じたと答えた人が 82.4%、仕事に非常に役立つが 78.3%、ある程度役立つが 21.7%で、「経験豊富な講師から、実践的で効果的な構成で学ぶことができた」とのコメントもありました。

本研修は、基礎、応用、実践コースの 3 本立てで構成され、次回の「具体的なビジネス推進手法（応用コース）」は 5 月と 6 月に予定しています。



グループディスカッションを実施

中小企業経営者とコンサルタント向け経営管理セミナーを実施



全員参加の事業活動を実現する方針管理セミナーを開催

4月23日、ハノイにて、技術協力「中小企業振興・産業基盤強化プロジェクト」の一環で、「全員参加の事業活動を実現する方針管理セミナー」を開催しました。セミナーには、計画投資省中小企業支援庁ブイ・トゥ・トゥイ副局長の他、各企業から16名が参加しました。

冒頭、トゥイ副局長の「方針管理によって、経営理念、経営方針を会社の組織の隅々まで浸透させていくのが大事」との挨拶に続き、JICA 裾野産業振興専門家である夏見氏より、経営理念と方針管理の社内外に及ぼす効果や、具体的実施手順について講義

が行われました。また演習課題では、経営幹部の立場に立ち、年度方針重点項目や KPI を策定するケーススタディーをグループで行いました。

終了後のアンケートでは、「企業運営に役立つ」、「方針管理の流れを更に詳しく知りたい」、「JICA が今回のような様々なテーマの研修会を開くことを期待する」等の積極的な意見が聞かれ、全員から今後も研修会に参加したいとの声が寄せられました。

次回は8月ごろに第二弾を計画中であり、同様のセミナーをホーチミン市でも実施予定です。



年度方針重点項目や KPI を策定するケーススタディーを実施

成長と競争力強化

「ホーチミン市都市鉄道 1 号線 (ベンタイン-スオイティエン間)」の全車両が到着



荷降ろしの様子 (写真提供: CP3 パッケージ日立製作所)

5月6日、JICA が支援中の「ホーチミン市都市鉄道 1 号線 (ベンタイン-スオイティエン間)」の車両

がホーチミン市に到着し、実施機関であるホーチミン市都市鉄道監理委員会 (MAUR) の要人などが参加した記念式典が開催されました。車両は日立製作所の山口県笠戸事業所で製造され、これで全ての車両 (1 編成 3 両、計 17 編成 51 両) が到着したことになります。

同都市鉄道はベトナム初となる地下区間 2.5km、高架区間 17.2km の計 19.7km を約 29 分で繋ぐ予定であり、現地では開業に向けた工事が急ピッチで進んでいます。間もなく皆さんに利用してもらえると思いますので、それまでもう少しだけお待ちください！

参考: [ODA マンが行く! ~都市鉄道を通して未来を描く巻~](#)



ホーチミン国家政治学院で課長級幹部候補生に環境政策を講義



ホーチミン国家政治学院で環境政策を講義

4月5日、ホーチミン国家政治学院（HCMA）が実施する課長級行政官向け「上級政治理論研修」で、JICA ベトナム事務所企画調査員の粕谷氏が講義を行いました。

HCMA は、共産党・越政府関係者を対象に、研修や学位を提供する党の人材育成機関で、JICA は2016年より Japan Class と称し、日本企業・政府関係者等の協力のもと、毎年多様なテーマで講義を実施しています。

昨年10月の京都大学広井良典教授による「高齢化社会」に関する講義に続き、今回は粕谷氏の各国における環境管理、学術研究、執筆活動や、事務所環境・気候変動セクター担当としての経験等を踏まえ、「日本の環境問題と関連政策」をテーマにベトナム行政官の実務に即した講義を行いました。

粕谷氏は、日本の水俣病及び豊島廃棄物問題を例とし、環境問題の人命・生態系への深刻な影響や初

動の重要性を強調しました。また、今日の環境問題は世界的な社会課題になっていることに触れ、日本の経験を活かし、ベトナムが経済発展と環境保護を両立する政策を実施することへの期待を述べました。ベトナムでは環境問題が深刻化しているほか、昨年11月のCOP26（国連気候変動枠組み条約第26回締約国会議）では、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとし、カーボンニュートラルを実現する方針を首相が表明するなど、環境問題への関心が高まっており、参加者は真剣に講義に耳を傾けていました。

JICA は今後も Japan Class を通じ、ベトナム行政官の能力向上のために貢献していきます。



関係者集合写真



JICAベトナム事務所では、本月報を通じて皆様との情報共有を目指しています。ご意見、ご要望は、vt_oso_rep@jica.go.jpまでお送り下さい。
※次回は4・5月統合版として5月発行予定です。

Website <https://www.jica.go.jp/vietnam/index.html>（日・越・英）

Facebook <https://www.facebook.com/jicavietnam>（越）発行：JICAベトナム事務所広報班